

令和元年度 串木野国家石油備蓄基地総合防災訓練の実施について

11月1日（金）、串木野事業所において、鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づく鹿児島県主催の総合防災訓練が行われた。

本訓練は、①タンカーからの原油揚荷作業中に市来断層帯を震源とする震度5強の地震が発生（津波の影響は無い）。②操業中の設備を停止し、地上部・地下部および海域設備の現場点検を開始。③漏洩確認及び緊急通報を実施。④現地指揮本部を設置し、いちき串木野市消防本部のドローンによる被害情報収集。⑤陸上では油漏洩箇所への土のう構築。⑥海上では海底配管からの原油漏洩に対してオイルフェンス展張。⑦土のう構築中に甑島列島東方沖を震源とする震度6弱の地震が発生し、大津波警報発令により緊急避難。⑧行方不明者のドローンによる捜索。⑨自衛救助隊・救護担当および消防救助隊による救出・救護活動。⑩原油漏洩箇所での火災発生、初期消火及び一斉放水と一連の実技訓練を実施した。

今回は想定外の自然災害を鑑み、初の試みとして、陸上・海上の同時並行訓練、ドローンによる被害及び不明者捜索、油防除作業から緊急避難／救出（高所・低所）／救護（心肺蘇生）等、付加想定による連動性のある緊迫した訓練となった。

訓練参加機関（12機関、総勢約160名、訓練車両19台、船舶4隻、無人航空機（ドローン）1機）と相互協力のもと連携を確認し、防災活動の円滑な実施という所期の目的を確認できた。

今後も基地の無事故・無災害を継続しつつ、有事に備えた訓練を積み重ね、基地の安全・安定操業に努めて参ります。



自衛防災本部設置訓練



現地指揮本部設置（指揮権委譲）



消防ドローンによる被害情報収集（ドローン映像）



オイルフェンス展張訓練



土のう構築訓練



救護訓練



高所救助訓練



初期消火訓練



消火延焼防止訓練〈陸上〉



消火延焼防止訓練〈海上〉



点検報告



訓練講評